

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公表番号】特表 2005-525408 (P2005-525408A)

【公表日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2005-033

【出願番号】特願 2004-500853 (P2004-500853)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/196 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/196

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/06

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 28 日 (2006.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血管内皮増殖因子媒介性血管障害を処置するための組成物であって、該組成物は、薬学的に有効な量のアンフェナクを含む、組成物。

【請求項 2】

前記障害が、滲出性加齢関連黄斑変性、増殖性糖尿病性網膜症、網膜静脈閉塞、増殖性硝子体網膜症、新生血管緑内障、角膜血管形成、網膜性微小血管症、および網膜性（黄斑）浮腫からなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

血管内皮増殖因子媒介性血管障害を処置するための組成物であって、該組成物は、薬学的に有効な量のネパフェナクを含む、組成物。

【請求項 4】

前記障害が、滲出性加齢関連黄斑変性、増殖性糖尿病性網膜症、網膜静脈閉塞、増殖性硝子体網膜症、新生血管緑内障、角膜血管形成、網膜性微小血管症、および網膜性（黄斑）浮腫からなる群より選択される、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記障害が、眼科障害である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記障害が、眼科障害である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記障害が、網膜性（黄斑）浮腫である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記障害が、網膜性（黄斑）浮腫である、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記障害が、増殖性糖尿病性網膜症である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記障害が、増殖性糖尿病性網膜症である、請求項 4 に記載の組成物。